２学期　終業式式辞

僕の前に道はない。　　僕の後ろに道は出來る
ああ、自然よ　　父よ　　僕を一人立ちにさせた廣大な父よ
僕から目を離さないで守る事をせよ　　常に父の氣魄(きはく）を僕に充たせよ
この遠い道程のため　　この遠い道程のため

高村光太郎の「道程」という大変有名な詩です。
　みなさんも　一度は聞いたことがありますね。
この詩にあるとおり、道は、生きてきた証として、皆さんの後ろにできます。
前に道は皆さんがつくります。
　この冬休み、自分の道を振り返ってみて下さい。
今年は令和という新しい時代に入った生涯忘れることのない何度も振り返る年になります。
　１年生の皆さんは　中学生になりました。新しい友達や先輩、先生と出会い、緊張の中で中学校生活がスタートしました。
いろいろな行事を経験しましたね。　もうどこから見ても中学生です。
　２年生の皆さんは、後輩ができました。
先輩を支えようとし、後輩の手本となるように頑張ったと思います。
　得意分野を伸ばすこともできたでしょうが、苦手分野をなかなか克服し切れなかったこともあったかと思います。
　３年生の皆さんは、あらゆる行事で学校をリードしてくれました。
やり残したと感じている事もあるかもしれません。いよいよ進路決定です。
　課題があるのは当然です。　しかし、それだけでなく、
皆さん一人一人が創り上げてきた素晴らしい出来事を思い出して下さい。
素晴らしい過去の喜び、感動、達成感のわけを振り返って考えてみて下さい。
必ず元気が沸いてきます。
人間は過去の意味を振り返ることで、自分の能力や適性を判断し、未来を見通すことができるのです。　これは、生きていく上でとても大切な能力です。
　新しい年、１・２年生は中学時代の表舞台に立っていきます。
　３年生は進路を決定し、４月から新しい世界に飛び込みます。
１２月、自分の後ろにどんな素晴らしい道ができているのかを確認し、
そして１月、新年に誓いを立て前の道を見つめて下さい。
諦めなければ、夢は必ず叶います。
一月八日、全員元気に登校し、
令和二年、そして３学期のすばらしいスタートをきりましょう。

令和元年十二月二十四日　　校　長　堀　富雄